

〈熊本支部例会事前抄録〉

日時：2022年2月22日（火）19：30～

会場：添島歯科クリニック研修室

— 一般講演抄録2 —

中等度酸蝕症があるガミースマイルの患者に対して行った包括的歯科治療

せき歯科クリニック 関 喜英 〒861-2101 熊本県熊本市東区桜木3丁目22-19

■抄録

酸蝕症により広範囲の象牙質が露出すると、咬耗や摩耗と相まって tooth wear は加速度的に進行し、咬合崩壊や審美不良などの問題を引き起こしてしまう。従って、病的な tooth wear に対してはできるだけ早期の治療介入と、必要最小限の侵襲による審美的及び機能的な回復を目指すべきである。また、ガミースマイルは、その原因を正しく診断し、CEJ、歯槽頂、歯肉辺縁の位置関係や、解剖学的歯冠形態と歯冠長、中切歯のインサイザルエッジポジションなどを考慮して治療にあたることが重要である。

そしてこれらの複合的、全顎的な審美修復治療においては、審美を起点とした治療計画を立案することが良好な治療結果をもたらすと言える。

本症例では、中等度の酸蝕症と、ガミースマイル、欠損のある患者に対し、矯正治療、歯周形成外科、自家歯牙移植、デジタルとアナログを組み合わせで作製されたセラミック修復物の接着修復を行うなどして全顎的に治療を行い、良好な結果を得ることができたので報告する。